

広報



ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課
 電話(018876)代 2100番
 印刷所 湖 東 印 刷 所
 電話(018876) 2430番
 一部 5円 郵便番号 018-17
 毎月 1日・15日発行

今年 は 国 際 児 童 年

子供は民族の宝・世界の宝



すこやかな子どもの成長は地域ぐるみで、老人ホームで

(広報細中にある写真を欲しい方には
おあげします)

国際児童年とは

国連で「児童権利宣言」が採択されてから、ことしでちょうど二十年目に当たりますが、これを記念して、ことしを「国際児童年」とすることに決まったものです。

「子どもは民族の宝、世界の宝」という考え方にたつて、国際児童年を機に児童問題についての認識を高め、いま子どもたちがほんとうに幸せなのかどうか、子どもたちをとりまく生活環境はこれでもいいのかなど、それぞれ関心を高めていこうという年なのです。

とくに、中心機関であるユニセフ(国連児童基金)では、開発途上国の恵まれない子どもたちの問題の解決に重点をおくことにしています。わが国でもこの趣旨にそつて「国際児童年事業推進会議」が関係省庁、民間有識者の参加のもとに昨年六月設置され、児童問題についての啓発活動、国内施策の充実や児童年を機にした国際協力が検討されています。

ことは、年間を通じて児童問題について関心を高めるための、いろいろな行事が催されます。その中でも、子どもの日の前後と夏休みの期間、十一月二十日は児童問題についての関心を高めるための行事が催されることになっています。

なかでも、もっとも中心となる夏休みの記念行事は、愛知県の愛知青少年公園で行われる「世界と日本の子ども展(仮称)」で、世界と日本の子どもに関するいろいろな展示、子どものための音楽、演劇などの催しが予定されています。

この町でも、二月十八日運動広場で、第二回子どもの雪まつりを行う外、毎年夏には子どもの祭典を開き、健全な心身とすこやかな成長を願っております。

二十一世紀を担う子どもたちに、少しでも大きな幸せが訪れるようみんな考え、える年にしようではありませんか。

昭和54年度 住民税申告相談日程表

受付時間 午前9:30～午後3:00

月日	曜	地区名	町内部落名	申告会場
2月6日	火	五城目	広ヶ野・希望ヶ丘・田町・上田町	役場第三会議室
7日	水	〃	小池町・今町・御蔵町・新町	〃
8日	木	〃	川原町・一番町・古川町	〃
9日	金	〃	紀久栄町・新畑町	〃
13日	火	〃	長町・仲町・米沢町・築地町・矢場崎	〃
14日	水	〃	畑町・昭辰町・雀館・中川原・館町	〃
15日	木	〃	樋口・上樋口(上・下)・岩城町	上樋口公民館
16日	金	〃	上高崎・高崎・館越	馬川公民館
19日	月	〃	下高崎・久保	〃
20日	火	面湯	岡本1区・野田	森山公民館
21日	水	〃	岡本2区・浦横町	〃
22日	木	内川	浅見内(1～6区)	浅見内児童館
23日	金	〃	湯ノ又(1～4区)・小川口	農協内川支所
26日	月	富津内	北々口・高千・落合	落合公民館
27日	火	〃	脇乙・台御蔵下・八田	台御蔵下公民館
28日	水	〃	富田・黒土・小倉	農協富津内支所
3月1日	木	〃	下山内・上山内	上山内公民館
2日	金	大川	大川1区・大川2区・大川4区	大川出張所
5日	月	〃	大川3区・下樋口・曙町	〃
6日	火	〃	石崎・西野	西野公民館
7日	水	〃	谷地中	谷地中公民館
8日	木	馬場目	帝釈寺・町村・門前	町村公民館
9日	金	〃	寺庭・小野台・蓬内台	農協馬場目支所
12日	月	〃	水沢・平ノ下・中村	〃
13日	火	〃	合地・杉沢・恋地・坊井地	杉沢公民館

住民税の申告相談

土地・家屋台帳の仮縦覧も実施

2月6日～3月13日

町では昭和五十四年度分住民税の申告相談を次の日程で実施します。指定期日に申告できない人は、同地区の他の会場においてください。

▽申告しなければならない人

- ・昭和五十三年中に収入のあった人
- ・国民健康保険に加入している人
- ・給与支払報告書を提出した人で、もそれ以外に所得のあった人

▽申告しなくてもよい人

- ・収入支出を記入した帳簿、印鑑
- ・生命保険料、損害保険料、社会保険(国保、国民年金)料の領収書または証明書
- ・医療費の領収書または証明書

▽申告しなくてもよい人

- ・給与所得だけで給与支払報告書が町に提出されている人
- ・生活保護法により保護を受けている人

※申告者は当日会場受付、自主記載する方に申告書を交付します。

※申告期限は三月十五日です

▽土地・家屋台帳の仮縦覧について

- ・雇用されている人は雇主の給与支払証明書
- ・農業所得者は……
- ・大農具の取得状況を記入したものの
- ・雇人等の賃金支払の内訳を記入したもの
- ・災害減算証明書、土地改良負担金領収書、水利組合費領収書
- ・大農具一機種五万円以上の修理費のある者はその領収書

※白色確定申告相談も同時受付します

※申告者は当日会場受付、自主記載する方に申告書を交付します。

▽土地・家屋台帳の仮縦覧について



所得税の確定申告は

三月十五日まで

五十三年度分確定申告は三月十五日までとなっています。税金を納付する場合つぎのことに注意してください。

①口座振替に加入している場合

振替納付日は三月二十七日です。で、預金準備は三月二十四日まで済ますようにしてください。また、税務署で送付した口座振替用納付書に所定の事項を記入して、五十三年度分確定申告書といっしょに提出してください。納付書が確定申告書に添付されていないときは

住民税申告相談会場で、土地家屋台帳の仮縦覧も同時に実施します。固定資産税(都市計画税)の課税対象となるあなたの土地や建物について、この機会にぜひ町の台帳を確認してください。

▽町税未納の方へ

昭和五十三年度の町税の最終納期限は、昭和五十三年十二月二十五日となっています。(修正による課税を除く)まだ納付してない方は至急納付してください。

・一月末まで納付した場合は延滞金(日歩四銭)が免除されます

▽納税組合員の異動について

納税通知書を迅速にかつ正確に納税者に送付するため、組合員の異動状況を常に把握していることが必要です。異動があった場合は組合長を通じて税務課に至急連絡してください。

税務署では口座振替を利用しないものと認め、口座振替の手続をしません。

②口座振替に加入していない場合
納期限の三月十五日までに、最寄りの金融機関に納付してください。

口座振替には加入した方が便利です。これは、金融機関が納税者の預金口座から自動的に納付する方法です。口座振替の申込用紙は税務署や金融機関に備えてあります。

③三月十五日まで全額納付できない場合
三分分税額の二分の一以上を納

付(振替)した場合、残額は五月十一日まで延期できますが、日歩二銭(年利七・三%)の利子税が加算されます。



所得税の申告始まる

贈与税の申告は二月一日から、所得税の確定申告は二月十六日から、それぞれ受付が始まり、どちらも三月十五日が申告期限です。期限間近になると税務署は大変混雑しますので、申告はできるだけ早く済ませるようにしてください。所得税の確定申告をしなければならぬ人は、

①事業をしている人などで、昭和五十三年中の所得の合計額が基礎控除などの所得控除の合計額より多い人

②サラリーマンで、二力以上から給与を受けている人や給与以外の所得が二十万円を超える人などです

またサラリーマンなどで雑損控除や医療費控除、住宅取得控除などの還付を受けるための申告は二月十六日前でも受付しています。贈与税は、昭和五十三年中に個人からもらった財産の価額が、六十万円を超える場合は申告しなければなりません。

計算の仕方や申告書の書き方などわからないときは、最寄りの税務署や税務相談室におたずねください。

PTA研修会から

学校依存やめて広報発行

問題点多く、解決は時間をかけて

特徴ある自主学級の運営

一月二十一日町民センターにおいて、全町PTA研修会(会長小玉幸夫)が行われた。

始めに、四人の父兄から話題の提供があり、それを三分散会に持ち込み話し合う方法をとっていた。その中で注目される活動があった。五城目幼稚園の保護者で結成されている各学級の運営で、幼稚園が終っても続けており、社会教育の中で立派に活やくしている。

また、馬場目小学校の父兄は、らく書帳を中心に意思の通をほかかる努力を続けている。三十一、四十ページの広報がその総集編になり九号まで発行、学校依存の改善と会員の自主性を育てるために、月一回発行のミニ広報以外は、でき得る限り、自分たちの手ですすめるよう努力していた。

子どもの立場で計画しているか問題点を解決する糸口を探し求めるための研修会であるが、次のようなものが共通な課題となった。

・PTAの出席率が非常に悪い。
・保育関係は農村部が、小中学校は大規模校が特に著しい。
・参観日は、平日がよいのか、日曜日がよいのか。
・日曜日の行事が多いと、子どもたちの生活のリズムが狂う。
・子どもたちのための行事を、ややもすれば、大人たちの思考で大人たちの都合に合せているの

ではないのか。もっと子どもを主体に、子どもの側に立って計画すべきではないのか。

・出かせぎ家庭や共かせぎ家庭の参加をどうすればうまく組合せできるのか。

・PTAは出席率がよければ、それでよいのか。

など沢山の問題点で、これに對して即効的な具体的解決策は、ほとんど無に等しく、話し合いの中で他校のものは参考になるが、問題は共通でもそれぞれの置かれていた地域環境などによって微妙な違いがありこれらの解決には相当長い時間をかけていく必要があるのではないか。



子どもたちの健康な姿は社会の健康につながる—五城目保育園で

あったので、その概略を述べてみる。

隔世の感に打たれる

子どもの幸福とは、一体どんなものだろうかよく考えることがある。現代の子どもたちは、服装はカラフルで、食べものは豊富、私たちのような戦前、戦中を経験した者にとっては、隔世の感に打たれることばかりである。

二十世紀を予測した記事から話は違いますが、神奈川県のある方

・列車の速度

一五〇マイル(時速二四〇キロ)になり、東京、大阪を二時間で走る。

列車の車は圧縮空気を利用し鉄道は世界の五大州を縦横に走っている。

・台風の方角を転換できる

台風の上陸を妨げるために、大砲の玉を空に打ち上げ、化学作用で台風を分散させる。

・医者は薬を使用しない

人はすべて六尺以上になり、医師の進歩は薬剤の使用をやめて、電気針で治療するが、それにもなう苦痛はなし。

・車、軍馬に代る

車時代を迎え、軍用馬に代る時代になる。

人々たけだものが会話のできる時代になっている

・幼稚園の廃止

遺伝により人知の発達が著しく、幼児教育の必要がなくなるので、幼稚園はすでに廃止されている。

予言と言えはそれまでだが、列車の速度はほぼズバリで、人間の背の高さも、車時代の到来もかなり確かな点がある。

ただ、薬剤の使用をやめている予言に反して、今の患者は、薬づけにされているとして社会問題となっている。人間がけだものと会話ができる時代とあるが、人間同志の話し合いができない時代となっている。そして幼稚園は廃止されるどころか、低年齢層の保育が年々さかんになっているのが現状である。

なぜ物質的なことを予言したの

か、なぜ精神的なものを書かなかったのか知るよしもないが、そのへんのところが欲しかった。

何の不足もないはずなのに

さて現代の子どもたちは、外からみると何の不足もないようだがそれなのになぜ非行が多くなり、家出や自殺が多くなっているのか子どもが考えている幸せと、大人の考える子ども像と重なり合っているのか。子どもの考えを汲みとる必要があるのではないのか。いろいろな疑問に突き当たる。

笑えない笑い話

どうしても自分たちの力のおよばない一つの流れ、特に母親の考え方に大きな流れがあったのではないのか。できる子、頭のよい子、かっこいい子にしたいとする考え方があったのではないのか。それは社会のすべてが、よい学校、よい就職先をめざすのが社会的な風潮となっていて、ハイハイの子どもの背に英会話のカセットをくりつけ

ている、笑えない笑い話もでてくる仕末である。その親は、小中学校の教育を見通してのことだろうか。

育児は待つ姿勢で

新聞にはデカデカと教育産業の広告がでる。他人より早く利口にさせようとあおりたてる。母親はそれにせきたてられてとびつく。遊びをとおして教育をしなればならぬ幼児をして、通信教育と一体どういふことなのか。

学校教育の姿が、そのまま幼児教育に移行しているのではない。子どもは小さければ小さいほど、その年齢に応じた教育や遊びのあることこそ幸福なのではないでしょうか。幼児の求めているものは

物質ではなくて、母親の愛情が必要なのであり、永い間の何千年かの生活の知恵は、子どもの本當の力に添った育て方をしてきたのに現在は、本やテレビに合せた育児が至ごく当然としている。

せっかちな育児はやめて、子どもの成長に合せた育児に徹すること、そのためには、ゆっくりと時間をかけて、子どもとの対話を大切にしたいものである。

育児はただ愛があるのみ

ヨーロッパ(西ドイツ)では、三、四、五歳児が一緒になって保育されている。保育方法は、三、四歳児が午前保育で終り、午後は五歳児だけとなる。物を利用しての自発活動が主体で、そこで自分を見分ける訓練をする。

先生はまた、どんな物をそこにおくか教育であり、前もって何かを教えるという準備教育ではなかった。

自律性、自発性を非常に大切にとりあげていた。例えば、自分がどんなに欲しいものがあったとしても、他人にゆずる教育、後仕末も自分たちの後に利用する他人のためにきちんとさせる。

幼児教育の底を流れているものに、集団の中で耐える精神を養うというねらいを持っていた。同年輩だと競争心は育つが、愛は育たない。そのために三歳から五歳児までを一緒に保育しているという目的がわかった。大きい子が、小さな子をいたわる。子どもたちは遊びの中でそれを体得していく方法をとっていた。

それも、ごく自然で日常的でわざとらしきがないところに、この国の教育に対する長い歴史を感じてきたところである。

もちつきにおじいさん
おばあさんも飛び入り

一月十四日、古川町十日会(会長久保市勝雄)は、うすやきね、ドラム街のかまどなどを車に積み込んで親子で老人ホーム森山荘のみなさんの慰問に訪れた。

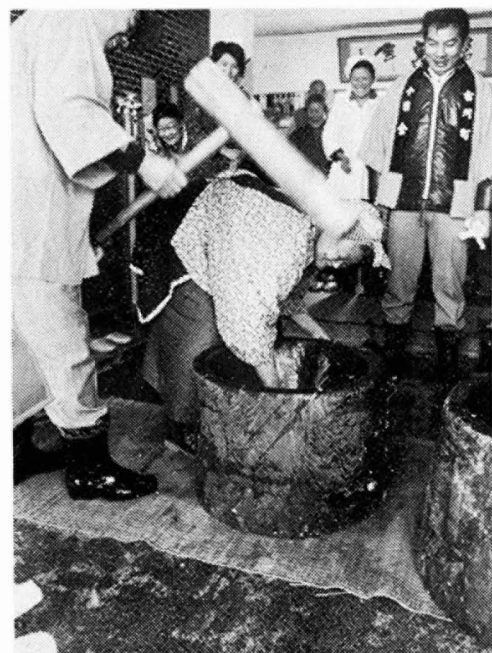
到着するや、餅つき班、豚汁班、たこあげなど雪あそび班などに分れ早速とりかかった。この日は、この冬一番の吹雪と思われるほどの猛烈さで、外での作業は至難をきわめた。それでも子どもたちはさすがに風の子、たこあげ、そりあそびに余念がなかった。

ホームの玄関で餅つきをしたが、見物のおばあさん昔とったきねづか、あいとりに飛び入りをした。さすがに手なれたもの、その手さばきには年が感じられないあざやかさ。それに負けずとおじいさんもきねを持つ。まことになごやかな風景が展開された。

孫たちにかこまれた気分

そのあと、餅と吹雪の中で味付けされた豚汁で、ホームのみなさんと十日会の一で行で昼食会が行われた。にぎやかな子どもたちの声に包まれて、おじいさんやおばあさんも、久しぶりに孫たちにかこまれた姿(ふん) 団気にひたっていた。

水を得た魚のようにおばあさんの手は生き生きとしていた



《慰問ミニグラフ》

老人ホームのみなさん今日は

十日会
もちつき
かくし芸
で慰問



寒さに耐えながら豚汁の味をかげんしていく

おくさんたちはもっぱら台所を担当
ホームのおばあさんも応援



子どもたちのフラダンス
おじいさんも飛び入り

今日の餅の味はまた格別
孫たちと一緒にの気分ひたる

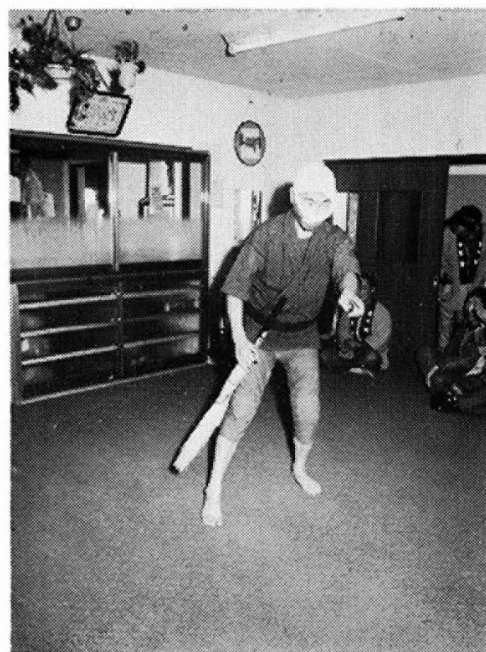


はなひげのある一心太助
意気のよい格好でホームにみやげを運ぶ



チンチン、タッチ氏中国から親善慰問
あざやかな迷中国語を披露

田吾作音頭のバックミュージックでお父さんは踊る



歌も姿も千昌夫はり。そしてトランクがよい

芸 達 者 に

昼食が終り演芸の部に入るや否や、中国の親善使節
団からチンチン、タッチさんのあいさつがあった。本
当の中国人と見まちがう程の巧なふん装と、巧な手さ
ばきで中国語(?)をあやつった。
ホームのみなさんは、そのあやしげな中国語に笑い
すぎて涙が出るほど。

歌謡曲、民謡、踊りと次々にくりひろげる素人ばな
れの種目は、観る人をして時間を忘れさすに十分なも
のがあった。途中、一心太助が天びん棒におみやげを
どっさり下げて訪れるなど、趣向もなかなか凝って
いた。外の猛吹雪と違い、ホームの中は十日会の善意に
包まれた温かな一日であった。

◇ ◇



どじようすくいと思ったら立派な安木節



九段の母の迷演技におばあさんたちもホロリ



出演者は素人ばなれの芸達者ばかり
ホームのみなさん笑いのうず

全町室内球技大会

バレー・バスケット

二月二十五日―広域体育館で―

二月二十五日午前九時から広域体育館で全町室内球技大会が行われる。これは冬期における体力増進と町民の融和をはかるというもの。職場や町内のチームなど多数参加してほしい。

開催要項はつぎのとおり。

▼バスケットボール

一、期 日 二月二十五日(日)

二、時 間 午前九時 開会式
九時半 試合開始

三、会 場 広域体育館

四、方法(内容)

①方法

・日本バスケットボール規則に準ずる。

・トーナメント戦とする。

・十分ハーフ、ハーフタイム三分とする。

②チーム編成

・職場、一般を問わず編成は自由とするが、他町村居住者、学籍を有するものを除く。

(但し、職場にあってはこの限りでない)

五、入 賞

・優勝チームには優勝トロフィー賞状、二位、三位チームに賞状参加賞を与える。

六、抽せん(組合せ)

・当日八時四十分から会場にて行うので代表者は八時四十分までに集合のこと。

七、申 込

・申込書により二月二十日(火)まで公民館(広域体育館)へ申込む。

(電話四四二一番)

八、その他

・出場選手の資格について十分注意すること。

・健康管理については各チームで責任をもつこと。

・当日時間(試合開始)までに集合しない場合は棄権として処理する。

・子どもづれの場合は責任をもつて保護し運営に支障のないよう注意する。

・不明の点については公民館へ

▼全町九人制バレーボール(冬期)

①期 日 二月二十五日(日)

②時 間 午前九時 開会式
九時半 試合開始

③会 場 広域体育館

④内 容(方法)

⑤九人制バレーボール

①方法

・日本バレーボール協会九人制規則に準ずる。

(但し、ネットの高さは二m二五cmとする)

・トーナメント戦とする。

②チーム編成

・社会人九人(男女混合)とし、二名以上の女子を含むものとする。

・職場、一般を問わず編成は自由であるが、他町村居住者、学籍を有するものを除く(但し職場にあってはこの限りではない)

③使用ボールは皮製五号ボールとする。

④家庭バレーボール

①方法

・秋田県制定バレーボール規則による。

・トーナメント戦とする。

②チーム編成

・男女混合(男四人、女四人)とし、年齢制限はない(但し、学籍を有するものは除く)

・編成は地区内同好者、または隣接町内部落と組んでもよい。

⑤入 賞

・優勝チームには優勝トロフィー、賞状、賞品、二位、三位には賞状、賞品を与える。

③抽せん(組合せ)

・当日八時五十分から会場にて行うので代表者は時間まで集合のこと(遅刻した場合は棄権とみなす)

⑦申 込

・別紙申込書により二月二十日(火)まで公民館事務局(広域体育館)へ申込む。

⑧その他

・出場選手の資格については十分注意すること。

・健康管理等についてはチームで責任をもつこと。

・当日時間までに集合しない場合は棄権として処理する。

子どもづれの場合は責任をもつて保護し運営に支障のないよう注意する。

不明の点については公民館へ

《健康大学》

三月まで

六講座を開設

一月十二日午後一時半から町民センターで、伊藤助役、今村保健所長が出席して、健康大学の開講式が行われた。

この大学は「自らの健康は自らの手で守る」ことを目的に、町内から受講生を募集して、毎年開講しているもので、三月まで六回の講座を計画している。それぞれの講座の講師は、医師や栄養士、社会教育関係者であり、専門の立場から健康について講義を行う。今年度の受講生は、男十七名、女七十六名であり、最年少者は三十一歳、最年長者は七十六歳である。

開講式の後、一回目の講座が開かれ、五城目町医師会会長の畑沢医師が「我が町における脳卒中の現状について」と題して講義を行った。

二月からの講座は次のとおり。

・二月二日午後一時から

健康講座：運動による健康法

・二月二十三日午前十時から

栄養改善講座：バランスのとれた食事のとり方

・栄養学講座：基礎栄養学について

・三月二十三日

健康増進講座：各種病気の早期発見法について



老人ホームに福祉電話第1号

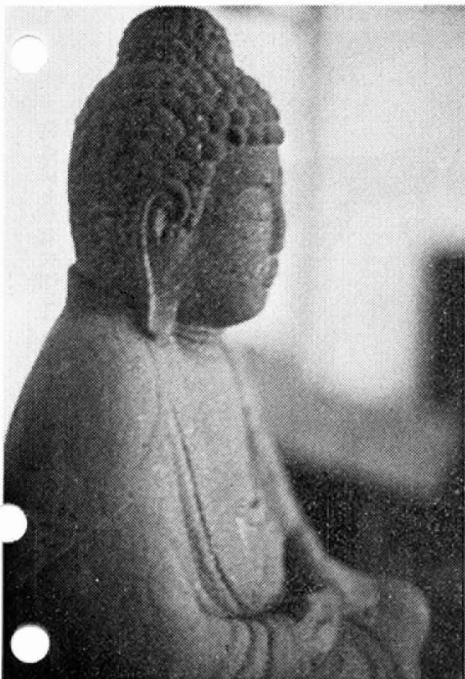
1月16日、五城目電報電話局では、老人ホーム森山荘に福祉電話第1号を取り付けた。この電話は、普通の受話器より18倍も高く聴くことができ、耳のよく聞えない方には福音である。当日は長距離電話も無料サービスであった。ホームのおじいさんやおばあさんは、そ遠になっている娘や親せきの肉声を聞いて大よろこび。耳の障害のある方にはよい贈物になるようだ。

五城目町の石仏 小川元生 23

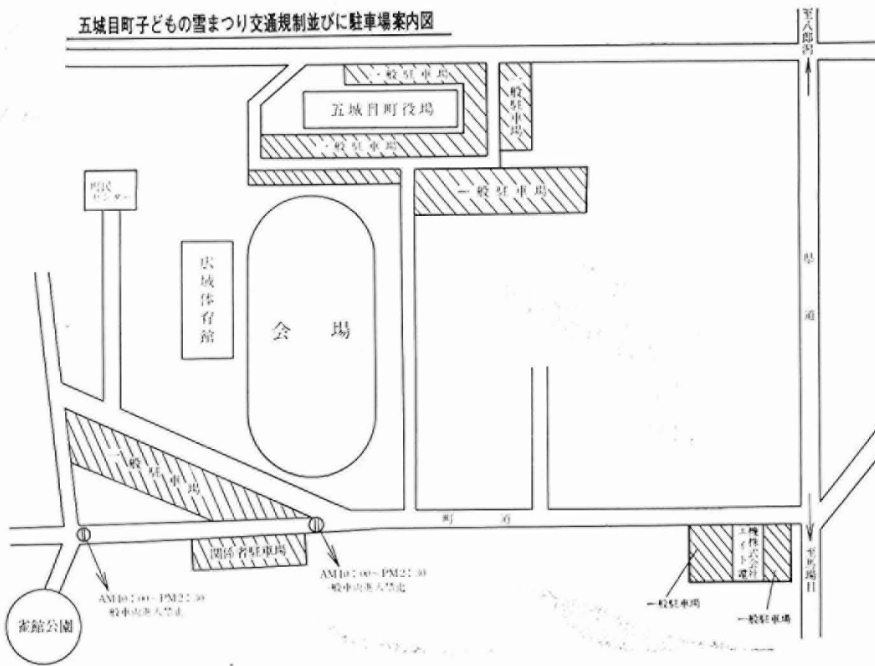
丸彫りの阿弥陀如来である。阿弥陀仏の木像や金銅仏、仏画は寺院などで多く見られるが、石仏となると仲々見当たらない。この町で私の見た今までは、単独仏としてはこの像が唯一で、外に如来の名がつくものと言え、薬師如来が二、三あるだけである。

阿弥陀如来は、浄土教や真宗などに「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることにより、必ず極楽往生出来ると思われ、広く信仰されてきた。五城目町には、大小さまざまの石仏が数多くある。

(五城目町 大きき 75×34×30)



五城目町子どもの雪まつり交通規制並びに駐車場案内図



第二回 五城目町

子どもの雪まつり

2月18日

町では二月十八日午前十時から
雀館運動公園広場で、町内の子ど
もたちを対象に第二回五城目町「
子どもの雪まつり」を行う。これ
は子どもたちが一日雪の中で楽し
く遊ぶことにより、友情を深め、
社会性を身につける機会にしよう
というものである。

▽日 程(当日の天候その他の事
情により一部変更することもある)

- ・午前十時開会
- ・午前十時三十分
- ・雪あそび
- ①箱ぞり ②雪ダルマ作り
- ③スキー(竹スキー、ミニスキーを含む)
- ④そり(ボブスレー)
- ⑤馬そりのり(馬二頭、そり四台)
- ⑥ゲーム(親子そり、リレー等)
- ・正午・昼食
- ・(甘酒、豚汁の提供をする)
- ・午後一時
- ・雪あそび
- ①たこあげ ②雪合戦 ③綱引き
- ・午後二時三十分 閉会

▽注意事項

- ・参加者は午前九時四十五分まで
にグラウンドに集る。
- ・昼食は各自で用意する。
- ・小さい子どもは保護者といっし
よに参加する。
- ・外でも寒くないような服装をす
る。
- ・「たこ」「スキー」「ミニスキ
ー」「そり」は各自で用意する
また甘酒用湯飲み茶わん、豚汁
用おわんも持参する。

▽その他

- ・積雪、悪天候等の都合により中
止の場合は各学校に連絡する。
- ・実施の時は午前八時に煙火を打
ち上げる。

青年トレーニング教室

参加者募集

町教育委員会では、町内の勤労
青年に体力づくりや楽しい仲間づ
くりをしてもらおうと、青年トレ
ーニング教室を計画しています。

恋地スキー場開き

昨年よりも11日遅い初滑り

一月二十一日
午前十時半から
恋地開設スキ
ー場、関係者、
スキーヤーなど
約五百人が参加
して、スキー場
開きが行われた
今年は降雪がな
く、昨年よりも
十一日遅いスキ
ー場開きとなっ
た。

「このスキー場から、工藤チャン
ピオンに続く世界的なスキー選手
がでることを望んでいます。」と
祝辞を述べた。

続いて町長がテープカットを行
い、町長の手でリフトのスイッチ
ボタンが押された。最後にスキー
愛好者二十二人が、プラカードや
トーチを掲げて初滑りを行い、ス
キー場開きを祝った。

スキー場にはリフト一基とロー
プトウ二基が設置されており、料
金は昨年と同じである。稼動時間
は午前九時から午後四時までであ
る。また、駐車場は三カ所あり、
約百五十台駐車できる。トイレは
スキー場に設置してあるほか、ス
キー場わきの生活改善センター内
のトイレも使用できるよう配慮し

「これからは田舎(いなか)の時
代に変わる。いままでも雪のため
家の中にとじこもっていたのを、
雪の良さをいかして、健康を我わ
れのものにすることが、田舎の時
代の良さである。」

また来賓の五城目営林署長は

友達同志さそいあって参加してく
ださい。参加料は無料です。

▽日 時
二月六日から毎週火曜日と金曜
日。十回開催。
午後五時半～七時半

▽場 所
広域体育館

▽対 象
町内在住の勤労青年
(特にスポーツ愛好者)

▽申込方法
公民館事務局(広域体育館)ス
ポーツ教室係(電話四四一一)へ
二月六日までに電話か文書で申込
むこと。



スキー場開きを喜ぶスキーヤー

- ・認定クラス 一級から五級まで
- ・申込 当日午前九時半まで会場受付
- ・受検料・公認料 (受検料) (公認料)
- 二級 一五〇〇円
- 三級 一五〇〇円
- 四級 一五〇〇円
- 五級 一五〇〇円
- △第六回町民スキー大会
- ・日 時 二月十一日(日)
- ・種 目 ①大回転 ②回転
- ・組 別 ①小学生の部 ②中学生の部
- ③女子の部 ④一般の部(青年、成年、壮年)
- ・申込 当日午前九時半まで会場受付

▽スキー
バジテスト
・日 時 二月四日(日)
午前十時

二月四日(日)
午前十時～午後三時
・参加料 無料

△町民スキー教室
・日 時 二月四日(日)
午前十時～午後三時



おしらせ

身体障害者(聴覚) 巡回相談

2月22日
町では身体障害者(聴覚)巡回相談をつぎのとおり行います。耳のご不自由な場合は気軽に相談ください。

▽日時 二月二十二日(木)
午前九時三十分～午後二時

▽場所 町民センター(いずみ)

感電事故の防止

電線に注意を

住宅の新築、増改築、軽量鉄鋼を使用する工事、造園や荷物の積降し、土木工事などでクレーン車等から架空電線に誤ってふれて感電死傷した例があります。いたまじい事故がおきないように、次の点にご注意ください。

●作業開始前に、必ず工事現場付近に電線があるか確かめる。

●電線に接近して作業することは絶対やめる。

●作業現場付近に電線がある場合は、作業者が感電しないように適切な危険防止措置を行ってか



ら、作業を開始する。
●電線防護措置などについて、判断しかねる場合や、接近して作業をする場合は、近くの東北電力へ連絡してください。

▽相談事項
・手帳交付(等級変更を含む)に
関すること。
・補装具の交付、修理に関するこ
と。
・その他
※相談者は手帳および印鑑を必ず
持参してください。

衛生教育スライドコンクール 作品を募集

厚生省と財団法人日本公衆衛生協会では、衛生教育活動の普及と発展に役立てるため、地方の実情に即した自作スライド作品を募集している。コンクールの結果、優秀な作品は、全国衛生教育大会の席上で発表し、表彰する。

▽応募資格

都道府県、政令市、および特別

区の本庁、保健所等関係機関、市町村、事業所(スライド業者を除く)等の団体ならびに個人。

▽応募規定

①テーマは「国民の健康づくり」を主題に、その内容は地域住民の健康に対する認識と、住民自身が健康づくりのために取り組んでいる具体的な活動例等。
②自作のものに限る。
③白黒、カラーまたは着色のいずれでもよい。
④シナリオ(台本)および録音テープ(カセット)を添付する。
⑤作品の所要時間は二十分以内。
⑥締切 二月二十日
⑦作品の送付先 県公衆衛生課長
※詳しいことは役場保健衛生課へ

家庭教育学級

子どもとおにぎり作り

一月十八日午前十時から広域体育館で「親子で楽しむおにぎり集会」が行われた。
これは、子どもたちにおにぎりを作る手をつかって楽しんでもらおうと、町と家庭教育学級のおかあさんたちが計画したもの。会場となった三階体育室には、六つの家庭教育学級のおかあさんと小学生が百人ちかく集まった。それぞれの学級では、温かいご飯や赤飯の入った大きなジャーを二つ三つ用意して来ていた。

学級ごとに敷かれたゴザの上でエプロンをかけた子どもたちは、おかあさんたちと輪になっておにぎりをつくった。手をとって教えてもらっても、子どもたちのつくったおにぎりの形はさまざまで、大きいもあり、小さいもあり、

円形やボールのようなものもあった。また、自分でつくって自分ですぐに試食する子どももいて、笑いの絶えないなかやかな会であった。
子どもたちは、おかあさんたちがつくったブタ汁を食べながら、自分たちのおにぎりの試食をし、午後からは、みんなでレクリエーションやゲームを楽しんだ。



おかあさんと輪になって

老人ホームに寄せられた善意
・一月十二日
フトン乾燥器 三台
大川下樋口 工藤 惣蔵

乳児検診

二月十三日

町では乳児の病気の早期発見と健康保持促進を目的に「乳児検診」を行います。

乳児の健全な発育と月齢に応じた適切な保育を行うために、町より通知を受けた方は、必ず受診するようにしてください。

なお、同封のアンケート用紙は必ず記入して持参してください。

日時 二月十三日 午後一時～二時

場所 広域体育館 予備室(二階)

誕生

おめでとう

ございます



持参するもの
①母子手帳
②アンケート用紙

矢場崎	一関おり枝	11、22	長女
田町	石川美和子	11、24	長女
田町	幸美 ナカ子	二女	
広ヶ野	畠山 学	12、4	二男
新町	正勝 あや子	12、5	長女
新町	秋山 聡子	12、5	長女
山下内	小林 智晴	12、5	長女
幸悦	良子	12、5	二男
二二日	鳴崎 庄司	76	大川
十六日	斎藤 三郎	66	町
八日	伊藤 宇吉	55	村
八日	工藤 徳治	59	岩城
八日	伊藤 タエ	80	野田
二日	松田 長伍	75	米沢
二日	松橋栄太郎	79	小川

おくやみ申し上げます

五十三年十二月

門前	斎藤 薫	12、6
北北口	伊藤 知範	12、9
御蔵町	渡辺 樹	12、10
田町	原田 恵	12、13
大川二区	浅野 真	12、15
町村	斎藤 美保	12、16
曙町	菅原瑠里子	12、18
北北口	伊藤 妙子	12、19
今町	近江 善之	12、20
合地	金沢 成泰	12、21
樋口	猿田 晶子	12、22
畑町	山崎 玲子	12、24
大川四区	石井 貴	12、29
武尊	セツ子	長男